

委託調査に係る成果物の概要

1 件名

法務局における業務・システム将来構想策定に向けた調査・分析等業務

2 委託先

アクセンチュア株式会社

3 目的

本件は、法務局における各業務・システムについて、現状を調査・分析して課題を抽出した上、国内外における最新の技術動向等も踏まえて、全体の最適化の観点から改善の方向性を打ち出し、今後の在り方を将来構想として取りまとめ、より効率的・効果的な情報システムの整備等に資することを目的として実施したものである。

4 調査・分析対象

本件においては、以下の事項を対象として、調査・分析を行った。

(1) 業務・システムに係る情報収集

(2) 業務処理に係る調査・分析

(3) 各情報システムに係る調査・分析

ア 各情報システムにおいて導入している機器等の利用状況の調査

イ 最新の技術動向等（クラウド、仮想化技術等）の適用可能性調査

ウ 各情報システムの基盤統合の可否等に関する調査

エ 各情報システムの拠点集約の可否等に関する調査

オ 上記ウ・エを可とする場合の統合・集約後の情報システムへの移行方法の調査

カ その他

(4) 将来構想の検討

5 結果の概要

本件における主要な調査・分析事項である各情報システムの基盤統合の可否等について、インフラを統合して共通基盤環境を構築することを前提に、当該基盤上に各情報システムを順次移行することにより、システム全体の効率化を図る可能性が示された。

ただし、同時に、当該共通基盤の構築や各情報システムからの移行のための投資に見合うコスト削減等の効率化が見込まれるかについては、更に次の工程において要件を精緻化した上で、慎重な検討を要するとの課題も示された。